

記者国語

魚の釣り方ガイド①

クラス

番号

名前

読み方(聞き方)篇

手段 インプット 答えアリ 筋トレ 大事だけど、おもしろない

20世紀型入試 論理的思考力のみ 言い換え力 ツツこむ力 比べる力
21世紀 海外型入試 創造的思考力まで おもしろい これをやらないと、国語嫌いに。

★目標「書くように、読め！」

○スタンス「異質を楽しむ・謙虚に」

※ファクト(事実)詰めつつ、ストーリーにする。

○スキル 「イイタイコト、見える化」

ボケツツコミ、日常会話で訓練を。

※目の前に筆者の顔思い浮かべ、会話を「イメージ」※マーキングできれば、読めなくても解ける！

①「横の読み」(つ・も・か・て)の、大きな流れを予測しつつ、読み始める

「AはCだと思う」 「なぜならB」つまりC「例えば」 「Xではなくて○だから」

②「縦の読み」SGTマーキング

○(SGT)「ボケ」見つけたら、「ツツコミ」(↓↓⇄)で、詰める

・ボケ「3つのサインSGT(主張・具体例前後・対比明け)にマーキング 線引く」
・ツツコミ「聞き方3つ」(「どういふことか」「なぜか」「どっちがうのか」)

2、主張・短

主張 である系 (+心情)

Cなのである・思う(考える・感じる・気がする)

主張 重要だ系 (+重視)

Aは重要(大切・注意・問題)だ

2、主張・長(理由・言い換え・具体例) 「なぜなら」「つまり」「例えば」

具体例前後 前後にマーク・具体例に×印 抽象(具体例・比喩引用) 抽象

3、対立意見 4、反論 「Xではなくて○である」

対比明け Aではなくて、Bである。 Aだけでなく、Bも

○小説のマーキングは心情一択。Sマーキング。主人公の心情には○。主人公以外は▽ +aで、心情の原因となる「出来事」には、傍線・マーキングしておく。

解き方篇「読み方(聞き方)」

20世紀型の受験国語(答えアリ)の目標 論理的思考力のみ

★目標「読めなくても、解ける」 ※内容が分からなくて、イイタイコトは掴める

①ナ・ナ・イ一択

1、「何が・どう」(赤・青) AはCだと思う(感じる) 傍線拡大スラッシュ

2、「なぜ」(緑) B探す(①理由)(②対立意見)(C)

3、「言い換え」(青) Cの言い換えに、特に注意。

○全体の解き方スキル

- ・ 目指す完全解答の文型「Aは、Bではなく、Bだから、Cだと思う(感じる)」
・ 解答の差がつくポイントは、「なぜ」 Bではなく、Bだから」を探し、盛り込むこと。
・ 1ポイント 20字。超重要。意識を！
・ 制限字数や枠の大きさから逆算して、何ポイント入れるべきか、判断。
・ 「対立意見」を入れるべきかは、字数や枠の大きさから判断する。
・ 点数稼ぐ為には、しっかりマーキングを。読み終えた段階で、答えが浮かんでくる。
・ 書くように、選ぶ。選択肢問題は。
○ 評論の解き方スキル
・ 「言い換え」「なぜ」どこ探す? 傍線部移動のテクニク
↓ Aを探す。その述語が、言い換え・なぜの根拠だ。 ↓遠く探さない! マーキング中心に探せ

- 小説の解き方スキル (「心情の評論文」。評論と同じく、「書くように、聞け・読め!」)
・ 心情はどこにある? 傍線部 約6行前(同じ段落) 過去回想の場合、回想明けに、心情特定
・ 傍線部内に、心情アリ なぜ(理由)・何が(対象)に根拠 心情ナシ 心情特定に根拠
・ 心情入っていない選択肢 x

「縦の読み」SGT マーキング詳細

○3 J SGT (主張・具体例前後・対比明け) だけ、マーキングの詳細

※読み方(聞き方)だけではなく、書き方(話し方)⇨小論文・プレゼンにも、生かせる!

つ〇〇 掴み (引用・具体例でキヤッチ) ・本題と一見無関係な、引用(謎を)⇨主張具体例のちら魅せ

も① 問題提起 (独自ユース発見) 「Aについて」 内容が分からなくなったら、主述注目「何は、どうだ」「何が、何を、どうする」

1、疑問詞(なに・なぜ・どう) 注目 1つだけ 8割冒頭 Bではあるからだ。

Aとは、何であろうか。 Bだ。 精神とは、何であろうか。 : Aだ。 なぜか。 どうしてだろうか。 Bだ。 ・主題提起(Aについて考えてみよう) 強弱のリズム・相同 キーワードを見抜く

2、定義・命名 Aとは、Bである。 定義 AをBと呼ぶ。 頻出語句 命名

か② 解決(得意分野でストーリーライン) Cだと思う⇨表現 注目 ※先に、対立⇨反論の来る時もあり

1、主張・短 Cなのである。 思っ 考える・感じる・驚かす

2、主張 重要だ系 (十重視) Aは重要(大切・注意・問題)だ Aが重要(本質・特徴・原因・前提)だ Aこそ重要(まさしく) Bだ 知らせたい・気づく・疑う・嫌悪を覚える・思われる・奇妙な

3、反語 Aではなからうか。 Aであろうか。 最上級表現 最も Aだ。 最も Bだ。 特に・大きな比重・まさに 生命・大本・特色・根本・核・基盤・全く同じ

2、主張・長(理由・言い換え・具体例) 「なぜならB」「つまりC」「例えば」 分かりやすく(具体例・比喻)

1、具体例前後 抽象論⇨(具体例)⇨(引用)⇨(抽象論) 見落としやすいが重要 よく出る

2、要約 つまり「要するに」、簡単に言えば、結局は、結果的に Bだ。 このよう Bだ。

3、並列 第一に Aだ。 第二に Bだ。 第三に Cだ。 第四に Dだ。 その結果・言い換えれば、すなわち

3、対立意見(一)⇨4、反論(十) Xではなくて、Oだから 説得力(対比否定・譲歩・逆説)

1、対比明け Aではなくて Bである。 Aだけなく、Bも

Aよりむしろ Bの方が AはXであるのに対して、BはYである。 いや、Oの方がわかりやすい。いや、さらに言うならば、では終わらないとは違って、反して

2、譲歩 確かに「もちろん・もちろん・なるほど」譲歩⇨しかし(逆説)、本音だ。

3、逆接(段落冒頭・本文最初の逆接であれば、マーキング) しかし「だが、けれども」 Bだ。 したとして、そのに、そので、その

て③ 提案(喜怒哀楽・人生・人間観) キヤッチに戻り、「なるほどね」と余韻を。

★結論 1、二重否定 「反対意見のキーワード」ではない 最終段落か、その近く多い 結論

記者国語

魚の釣り方ガイド③

クラス

番号

名前

■「読み方(聞き方)」の手順説明書

(目的を意識) ※マインドセット

- ① 苦手な人の読み方⇒字だけを追っついて、気持ちが入っていない! どうする? ② **超大事!** **まず、読むための「目的」を意識。** 初読の場合、タイトル見て、テーマを認識。つまり、「ブレゼン(小論文)」のネタ探しのイメージ。すると、主体的に読める。
- ③ 次に、筆者が目の前にいると思い、**会話をイメージ。**
・会話に望むスタンスとしては、「異質を楽しむ・謙虚に」のスタンスで、
相手は情報をくれる大切な人だという思いで、**心を落ち着かせる⇒マインドセット。**

(読み方目標)「書くように、読め!」(⇒点数がとれる)

- ④ そのためには、**早く深く「相手のイイタイコト」を掴む必要がある。**
- ⑤ まずは、「横の読み」。相手の「イイタイコト」を掴むため、
・**横の読み**「**つもかて**(の)流れを意識しながら、読み始める。
・「**つ**(掴み)」「**も**(問題提起)」「**を**掴もうとする。」
- ⑥ 次に、「縦の読み」。相手の「ボケ」⇒**3つのサイン**「**SGT**」が聞こえたら、
・「**どういついごとか**」「**なぜか**」「**どっちがうのか**」で、「**ツツ**」を入れる。
・「**ツツ**」ミを入れながら、
・「**つもかて**」の意味段落ごとに、「**書くように、読ん**」でいく。**要約できていく。**
- ⑦ そうすると、ファクト(事実)を詰めながら、ストーリーが出来上がる。
つまり、相手の「イイタイコト」は掴める。
- ⑧ こうして、「相手のイイタイコト」を早く深く掴めたら、**価値判断できる。**
- ⑨ ちなみに、「書くように、読む」スキルで、
・**マーキングが出来れば、答えの根拠が浮かび上がってくる。**
・**だから、マーキングは、しつかり、出来るようにする。**「生使える!」

(解き方目標)「読めなくても、解ける」(※内容が分からなくても、イイタイコトは掴める)

- ⑩ 解き方は、「**ナナイ**」1択。全ての問題は、「**ナナイ**」で解ける。
つまり、「**Aは**、**Bでは**なく、**Bだから**、**Cだ**と思う(感じる)」「の完全解答を目指す。
- ⑪ 「**どういついごとか**」問題のキーは、「**Bでは**なく、**Bだから**」の理由を
- ⑫ **どこまで書くかは、1ポイント20字の字数により判断する。最難は自分で言い換え**

(将来像) AI超えの「国語力ベースのコミュ力」を(※ボケ・ツツ・ミ)。日常会話で鍛えろ!

- ⑬ **国語は、思考力のベースだ!** 言葉(語彙・知識 論理)↓思考・世界。
- ⑭ AIに勝てるのは、読解力に基づいた「**コミュニケーション力**」。
- ⑮ **どう鍛える? 「読書」できるなら、もちろんOK**
でも、「聞く」ことは、「読む」スキルに活用できる!なので、日常会話でも鍛えよう!
- ⑯ **具体的には、ボケとツツ・ミを意識していく。結果的に、点数上がるぜ!**